

平成23年10月15日発行

編集・発行
 社会福祉法人 向日市社会福祉協議会
 京都府向日市寺戸町西野辺1番地の7
 向日市福祉会館内
 TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425



むこう市社協だより

福祉パレット

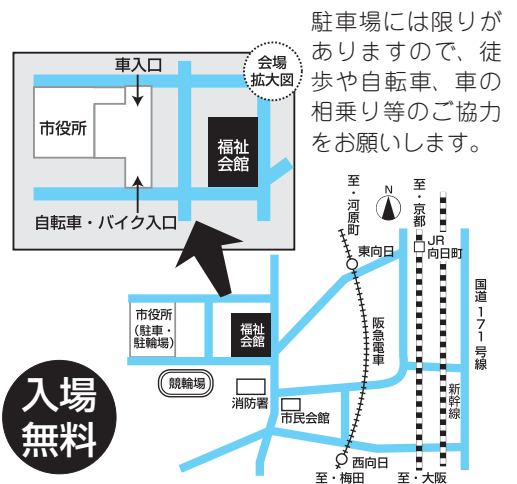
第4回 社協まつり

平成23年11月13日（日）午前10時～午後3時

場所 向日市福祉会館（向日市寺戸町西野辺1-7）

主催／向日市社会福祉協議会 後援／向日市・京都新聞社
 お問い合わせ 932-1960

社協まつりでは、向日市社会福祉協議会と地域の福祉関係団体（ボランティアグループ・ふれあいサロン・地区社協・福祉施設）が、日ごろの活動をPRしたり、作品の展示・販売を行います。



駐車場には限りがありますので、徒歩や自転車、車の相乗り等のご協力をお願いします。

入場無料

内容



- 福祉バザー
- 模擬店
- 人形劇 『クラルテ』
- ジャグリング
- マジックショー
- ビンゴゲーム
- もちつき
- オリジナルハンカチ作成
- ボランティア団体・福祉団体に
よる展示・舞台発表
- サロン展示体験
- 福祉施設・団体作品展示販売
- 福祉用具展示販売
- 野菜販売
- キッズルーム
- ミニステージ
- スーパーボール など

バザー品の提供にご協力をお願いします。

～東日本大震災被災地支援～

向日市社会福祉協議会では、平成23年11月13日（日）の「社協まつり」会場において福祉バザーを開催します。収益は共同募金会を通じ被災地

に寄付いたします。皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

○募集する品物

（未使用の品物に限ります。）

- ・雑貨品
タオル類、石けん・洗剤など
- ・台所用品
食品ラップ、鍋、やかん、フライパン、など

・食料品

調味料、コーヒー、缶詰など

※ただし、衣料品、本、陶器類は受付けていません。

○持込場所

向日市福祉会館

○募集期間

平成23年10月11日（火）

～10月28日（金）

きりとり

きりとり

第4回社協まつり
ポップコーン無料券
 午前10時～午後2時
 先着500名

社協会費へのご協力ありがとうございます

平成23年度社協会費実績報告

平成23年度 社協会費募集報告

(単位：円)

本年も皆さまにご理解とご協力をいただきました。社協の会費を報告いたします。この会費は、福祉活動を推進するために、貴重な財源となるもので、有効に活用させていただきます。

地区名	一般会員 一口500円	特別会員 一口3,000円	名誉会員 一口10,000円	賛助会員 一口5,000円	合計
物集女	864,300	6,000			870,300
寺戸	1,517,850	39,000	10,000		1,566,850
森本	347,000	30,000	10,000		387,000
鶏冠井	452,200	15,000			467,200
上植野	475,200	45,000			520,200
向日	132,000	12,000	10,000		154,000
西向日	181,000	6,000	10,000		197,000
向日台	129,100	18,000			147,100
その他				710,000	710,000
合計	4,098,650	171,000	40,000	710,000	5,019,650

平成23年9月26日現在

平成23年度 特別会員、名誉会員、賛助会員 (50音順、敬称略)

名誉会員

- 鎌田 豊一
- 木ノ山高久
- 窪田 邦彦
- 佐野 三郎
- 辻谷 とし子
- 嶋田 和三
- 清水 大蔵
- 鈴木 智志
- 西田 美智子
- 古市 ちろ子
- 堀池 清治
- 水本 允子
- 矢野 郁也
- (向日)
- 奥田 章雄
- 小林 和修
- 小田 十郎
- (西向日)
- 戸倉 米造
- 長尾 繁喜
- (向日台)
- 岡山 博一
- 高木 省二
- 原田 弘勝
- 村山 尚彦
- 山本 隆彦
- 木ノ下整骨院
- (医) 耳鼻咽喉科医院
- 坂根歯科医院
- 笹川医院
- 繁本医院
- 清水接骨治療院
- 鈴木内科外科診療所
- 第二京都回生病院
- 竹内歯科医院
- 武田医院
- たさか眼科
- 谷口歯科医院
- 田村眼科医院
- 段本治療院
- 土井医院
- 内藤歯科診療所
- 中本医院
- 野野接骨院
- 野崎皮膚科医院
- 花安小児医院
- 羽田歯科医院
- ヒラオカ薬局
- 廣瀬診療所
- ふじもと整形外科医院
- 法貴薬局
- 堀医院
- 真崎歯科
- 真崎歯科
- マツノ薬局
- (株) マルナカ薬局
- 南皮ふ科医院
- 宮本歯科医院
- 向日歯科医院
- 向日中歯科医院
- 向日町ドラッグ
- 山口歯科医院
- 山下医院
- 山下クリニック
- よこばやし医院
- 洛西医院
- 若江医院
- 一般・企業等
- 有馬義化研(株)
- 五十樓建材
- いその商事

特別会員

- 斎藤 民子
- 清水 三雄
- 恒田 正弘
- 安井 正弘
- 斎藤 雅一
- 堀越 雅朗
- (寺戸)
- 飛鳥井 幸潔
- 足立 敏幸
- 稲本 正巳
- 梅地 洋史
- 木下 博史
- 小西 かずゑ
- 齊藤 一真
- 檀上 恵夫
- 仲島 隆夫
- 中村 薫昭
- 永矢 敏昭
- 長谷川 純
- 松田 昭彦
- (森本)
- 井村 國治
- 木村 定次
- 清水 重和
- 清水 敏正
- 清水 敏行
- 清水 義和
- 清水 良治
- 千賀 万寿子
- 塚田 三子
- 中野 和郎
- (鶏冠井)
- 生嶋 博子
- 生嶋 正巳
- 太田 すみ子
- 岡本 節敏
- 北野 節敏
- (上植野)
- 植野 廣一
- 小野 進

賛助会員

- 病院・医療機関等
- 赤川歯科クリニック
- あらかわ医院
- 伊原薬局
- 岩本医院
- 大原歯科医院
- 岡崎歯科医院
- 岡崎医療生協医談会
- 乙訓調剤薬局向日町店
- 角水医院
- 加藤小児科医院
- かわかみ調剤薬局
- 東向日店
- 北原歯科医院
- きくおかクリニック

- いなもと印刷
- ヴィケア有価会社
- (株) ヴェリテ種本
- 遠藤電気
- オカダ酒店
- (株) 大塚竹材店
- オートショップ
- スパー・ノバ
- 大橋山田合同事務所
- 岡崎鉄工商会
- (有) おかざき
- 岡田石材
- 梶測量設計事務所
- 片山米穀店
- かどや
- (株) 瓦熊
- (株) 神崎屋
- 木下建設(株)
- 京たけのこ森庄
- 京都衛生開発公社
- (株) 京都銀行
- 東向日町支店
- (株) 京都銀行
- 向日町支店
- 京都新聞
- 向日町北販売所
- 京都新聞向日町販売所
- 京都中央信用金庫
- 東向日支店
- 京都中央信用金庫
- 向日町支店
- 京都中央農協同組合
- 向日支店
- 京都トヨベツト(株)
- 京営業所
- きりん園本店
- 京滋三麦ふそう
- 自動車販売(株)
- 向陽ゴルフセンター
- (有) 向陽美広社
- 向陽福祉会向陽苑
- 小山家具
- 佐藤会計事務所
- ジーエス・ドイ・テック(株)
- 丸正倉庫(株)
- (株) マルヤス
- 向日市商工会
- (株) 矢尾卯
- (株) 安井奎工務店
- (有) 山口石油
- (有) 山本商会
- ユアサ化成(株)
- (株) ユニス
- 理容カトウ
- (株) ワイエー物流
- (有) 和光下村
- 向日市副市長
- 兒玉 幸長
- 向日市教育長
- 向日市役所部長 奥野 義正
- 向日市役所課長 向日市役所課長会
- (有) 志賀サイクル
- シミスクリーニング
- 杉本モーターズ
- 杉山建材
- (有) スマイルケア
- (有) 高橋自動車
- タックメイト万源酒店
- 建口石材(有)
- (株) タミアキ造園土木
- 東洋ライト(株)
- 東洋竹工(株)
- (有) 富安水工店
- ナカライテスク(株)
- 西の丘ローン
- テニスクラブ
- 日東薬品工業(株)
- ヌフ
- (株) 野村龍酒店
- 橋本住宅
- 長谷川電機
- 花久オフィス
- (株) サイビス(株)
- (株) 原田ソール
- ウォーター
- (株) 藤田興業
- 舞鶴倉庫(株)
- 京都営業所



交流のつどい

「夏の学校」

夏のおもいで

各小学校では、夏休みを利用して、校区内の障がい児童・生徒やその保護者、地域住民が交流する「夏の学校」が開催されています。

第2向陽小学校では、当日、始まりと終わりにテーマソング「むこうしのなかまたち」を参加者全員が手話も交えながら大きな声で合唱し、プールやゲームなど元気いっぱい楽しんで、3日間で延べ350名の参加がありました。

担当の佐野先生は、「当日は、子ども達为中心になって運営し、出会いと交流の機会を大切にしています。」と話されていました。



撮影：平成23年7月29日（金）



地域で暮らす高齢者を取り巻く現状をみると、孤立や孤独死、悪徳商法被害、虐待等の問題が深刻化しています。

この講座では、支援が必要な高齢者への対応を講義やディスカッションを交えて学び、高齢者を地域で支える地域サポーターを養成します。

この機会に、地域での支えあいについて一緒に考えてみませんか？

一回だけの受講も可能です。是非ご参加ください。

場所：向日市福祉会館3階大会議室
定員：35名（先着順）

※2日以上受講された方には修了証を発行します。

お問い合わせ・お申込み先

向日市社協ボランティアセンター

向日市寺戸町西野辺1番地の7 向日市福祉会館内

TEL 932-11961

日程と内容（予定）

回数	日時	内容	講師
3	10月27日(木) 13:30～16:00	「高齢者の理解と自立のための支援とは」～ちょっとした気づかいできる関係づくり～	桂川園 園長 山岸 孝啓さん
2	10月20日(木) 13:30～16:00	「高齢者を支える地域づくりの実践」～孤立を防ぎ、地域のつながりを築く～	地域サポーター ふれあいサロン 民生委員
1	10月13日(木) 13:30～16:00	「地域で高齢者のくらしを考える」～地域で支えあう仕組みづくり～	同志社大学社会福祉学科 准教授 永田 祐さん

「ボランティア体験プログラム2011」

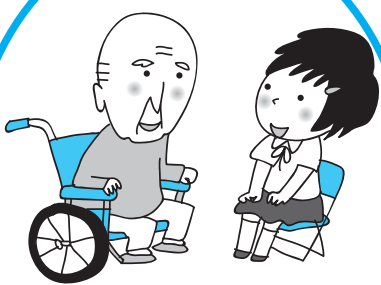
ボランティアであなただの力を生かそう!!

参加受付中

市内の福祉施設でボランティア体験ができます。ボランティア活動を始めてみたいと考えている方、大歓迎!! 体験先・日程調整等はボランティアセンターが行いますので、ご安心ください。お問い合わせは、ボランティアセンターまで。

3つのコース

学生コース (高校生以上)



進学や就職で福祉や介護を希望されている方

通常コース



福祉の仕事に興味があり、社会貢献したい方

シニアコース



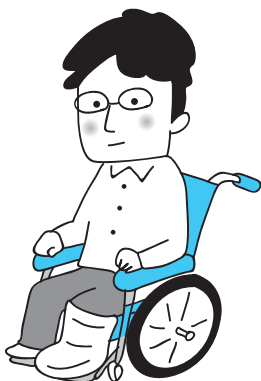
ボランティア活動をして、まだまだがんばろうと思っている方

※プログラム（活動先）にもよりますが、概ね3日間以内の体験です。

【参加対象】 市内在住、在学、在勤の方 ※高校生は保護者の同意書が必要です。

【参加費】 無料（ただし、食費・交通費等、ボランティア保険代は実費）

平成23年6月2日（木）に毎日新聞東向日販売所様から本会へ車椅子を寄贈いただきました。寄贈いただいた車椅子は、貸出用車椅子として活用させていただきます。



- 貸出期間…1週間以内（条件により最大1か月）
- 種類…自走式、介助式
- 費用…無料
- 申込…地域福祉係までお問い合わせください。

- ・ 通院や旅行、また市内の親族宅等に帰省される期間
- ・ 介護保険サービスの車椅子レンタルを申込み納品されるまでの期間
- ・ その他、事故等により車椅子が必要な場合

利用できる方…向日市在住で、一時的に車椅子を必要としている方

車椅子の無料貸出し

くらしの資金(冬期)のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくり困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、「くらしの資金」の相談を受付けます。

受付期間

12月1日(木)～14日(水)

午前9時～午後4時

(土・日曜日を除く) ◎要予約

貸付限度額

1世帯あたり10万円以内

●ご相談は、地域福祉係
(電話932-1961)まで。

まちがいさがしクイズ

下記の2つのイラストには、まちがいが5つあります。さがしてこたえてください！



*応募方法

はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④今回号で特に興味があった記事(複数回答可)⑤「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

*締め切り 平成23年11月30日(水)まで必着

*送り先 〒617-0002 向日市寺戸町西野辺1の7 向日市福祉会館内 総務係 FAX 933-4425



あたたかいお正月を
迎えていただくために

おせち料理配食のお知らせ

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、お節料理を大晦日に配食します。

料金 2,000円

内容 6寸1段

申込 配食を希望される方は、お住まいの地区担当の民生委員を通じてお申込みください(期間: 11月1日~12月9日)。

くわしくは地域福祉係までお問い合わせください。

東日本大震災義援金を ありがとうございました。

募金額 65,259円

向日市社協では、4月1日から6月30日までの3か月間、市内13か所の事業所に東日本大震災の義援金箱を設置いただきました。皆様から寄せられた義援金は、京都府共同募金会を通じて被災地の復興支援のために役立たせていただきます。

(募金箱設置協力店: 13事業所)

オカダ酒店 神崎屋 キッチンタロー 麒麟園 向陽ゴルフセンター タックメイト万源 中国料理ほあんほあん なかの食品 野村龍酒店 はなこ フォレノワール ライフシティ東向日 洛園

善意のご寄付ありがとうございました。

(平成23年5月20日~平成23年8月31日)

岡崎 静子 様	100,000円
乙訓明るい社会づくり運動の会	10,000円
恒田 三千雄 様	10,000円
三菱電機株式会社・三菱電機ソシオールーツ基金	
液晶テレビ	

高齢者をとりにまく悪質商法

ちょっと待って！ その買い物、その契約、大丈夫？



近年、高齢者をとりにまく悪質商法は急増しており、その手口は多岐にわたっています。

(たとえば…)

『点検商法』	無料点検を口実に突然訪問し「このままでは危険！」と不安をあおり、不要なりフォーム工事をして高額費用を請求する。
『振り込め詐欺』	遠方に住む息子を名乗り「トラブルに巻き込まれた！いますぐお金が必要なので振り込んでくれ！」と焦らせ対応させる。
『送りつけ商法』	注文した覚えがないのに書籍や健康食品が届き請求書が同封されている。
『催眠商法（SF商法）』	日用品などの無料配布をして空き店舗に人集めをし、場の雰囲気盛り上げて高額な布団などを売りつける。
『電話勧誘商法』	突然電話で、未公開株の購入を勧めたり、在宅で簡単に収入が得られる仕事があると一方的に提案してくる。

設置が義務化された火災警報器や、地上デジタル化、東日本大震災など、タイムリーな話題を切り口に、悪質業者はさまざまな手法を用いてきます。話を聞いてもらいたい、人とふれあいたいという心情につけこみ、言葉巧みに近づいてきます。ひとり暮らしのお年寄りの家に最近見慣れない車がよく止まっていたり、玄関先に美容品や健康食品の段ボールが山積みになっていたら、要注意かもしれません。市や府の消費生活相談など専門の相談窓口があります。また、身寄りのない認知症の人を悪質商法から守るために**成年後見制度**※を利用することも有効です。あっと思ったら、被害が悪化する前に早めのご相談を。

【注釈※】 成年後見制度とは…認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で、判断能力が不十分な人が、財産管理や日常生活での契約を行うときに、判断が難しく不利益を受けたり、悪質商法の被害者となることを防ぐ、権利と財産を守る制度です。

健康 コラム

知って得する認知症

第3回

～だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざして～

前回まで病気のメカニズムやその症状についてふれましたが、今回は認知症の人への接し方や対応の心がまえについてのお話です。

認知症になると、これまで普通にしていた行為がうまくできなくなったり、得意なもののが不得意になったり、本人は自分の変化を自覚し、やがて自信を失っていきます。認知症になると、性格が変わって嘘をついたりごまかしたり、攻撃的になったりする人がいます。脳の疾患によるところは大きいですが、「変わっていく自分を認めたくない」という自己防衛のひとつなのかもしれません。

では、自信を失っていく認知症の人に、どのように接することが大切なのでしょう。まずは本人に「恥をかかせないこと」です。できないことを指摘したり攻め立てるばかりでは、どんどん自信を失い、認知症の症状が悪化することもあります。そうすると、本人と相手の関係にもひびが入り良好に保つことが難しくなります。本人の尊厳を守るため、それとなく手助けして成功体験に結び付けてあげることが大切です。

しかし、認知症の人を毎日介護する家族にとっては、そう簡単に割りきって受容できるものではありません。戸惑いや怒りの感情のなかで、心身ともに疲れ、行き詰まってしまうことも多くあります。そのため介護者である家族にも、あたたかい声かけやさりげないフォローなど周囲の支援が必要です。高齢化社会のなかで、認知症の人と家族を支えるためには、地域に住むわたしたち一人ひとりがそれを担っていききたいものです。

対応の心得（3つのない）

驚かせない	急がせない	自尊心を傷つけない
-------	-------	-----------

「私たちも役に立ちたい！」

～手作り品を義援金に～

デイサービスの利用者が、東日本大震災で被災された方々のために少しでも役立つアイテムの思いから、バザー品を作るようになりました。

すべて手作り品ですので品数には限りがありますが、真心だけはたくさん詰まっています。

社協まつりの福祉バザーにおいてください。



たくさんできたけどバザーで売れるかな？（髪飾り作り）

あなたもできる！
手作りふりかけ！
（しそふりかけ）

誰でもカンタン！
たまねぎの皮で
染色しよう！

①しそを摘み取ります。

②水でよく洗います。

③梅酢に漬けます。

④乾燥させます（できるだけ

カリカリに！電子レンジで

チンしてもOK！）。

⑤ミキサーにかけます。じゃ

こ・鰹節・ごま等お好みで

いれるとおいしくなります。

①たまねぎの皮を鍋に入れ、

水をはり30分ぐらいコトコ

ト煮ます。

②濃いオレンジ色になったら

熱いうちにこします。

③染めたい布や糸をこした液

につけます（ダイでは輪ゴ

ムでしぼり染めにし、喫茶

週間にランチョンマットと

して使用しています。



④染色後の色止めは、ボール

一杯のぬるま湯にミョウバ

ン（ティースプーン一杯

を入れ浸します。

⑤よく水洗いして干します。



おいしくなあれ。（しそふりかけ作り）

作業療法士の 家庭でできる

「TVを見ながらラクラク体操」

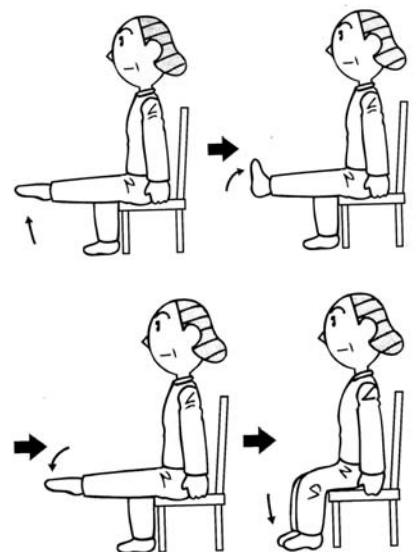
～ふとももを鍛えよう！～

今回は、美しく立ち座りをするための秘訣をご紹介します。この体操は、足の血行を良くし、筋力の効果的な維持・向上に効果があります。また、同じ姿勢を余儀なくされる東日本大震災の避難所でも、エコノミー症候群の予防策として取り入れられています。あなたも家庭でできる「ラクラク体操」に、ぜひチャレンジしてみてください。

方法 椅子に浅めに座り、背もたれせず姿勢を保ちます。

- 1 足首を伸ばしたまま、膝を伸ばします。
- 2 足首を90°に曲げます。
- 3 足首を伸ばしながら下におろします。

目標→片足4～6回ずつ、ゆっくり行いましょう



まちづくり市民の会 会長
吉川正一さん



向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方にインタビューを行い、その方の活動内容などを紹介する「この人に聞く」コーナーを開設しています。
今回は、現在、向日市社協の地域福祉活動計画策定委員会の委員でもある「まちづくり市民の会」の吉川正一さんにお話を伺いました。

▼プロフィール

吉川さんは平成4年から上植野町で工務店を経営され、その頃、乙訓青年会議所に入社して、多くの人たちと出会ったのがきっかけで地域活動（体振の役員など）に参加されるようになりました。

住んでいる町内に子ども会がないため、地域の男性だけで子ども会のイベントを企画しようと隣近所に声を掛けて男性ならではの楽しい催しを実施したこともあったそうです。

はじめから地域活動に積極的だった訳ではなく、「周りから誘ってもらえるうちが花だ」との軽い気持ちから参加されていたとのことでしたが、平成11年に向日市が公募した「市民まちづくりフォーラム」に参加したことが契機となり、市民ができるまちづくりを考えるようになってきたそうです。

▼「まちづくり市民の会」の活動

「市民まちづくりフォーラム」で提言した政策を、実現させたいの思いから、自分たちができることを取り組んでいこうとメンバーが集まり、平成13年10月「まちづくり市民の会」が結成されました。平成15年3月に市へ提言されたこと

- ①まちづくりセンターの設立
 - ②巡回バスの運行
 - ③竹をまちづくりに活用
- 平成16年12月には巡回バスの運行について「7・67健康号」構想などを提言されています。

平成14年から向日神社を舞台に実施してきた「7・67星空コンサート」は、市内の音楽家に声を掛け今年で10回目となりました。

この取組で、市の面積が7・67平方キロと小さいながら、多くの市民（人材）とともに素晴らしい催しを手作

りで実施することができたと、手ごたえを感じられています。また、「7・67ふれてみよう！ わがまちの歴史」と「7・67絆流素麺会」は、向日市の歴史や特産物の竹を活かし、みんなで楽しもうということがコンセプトになっています。

▼ふれあふと思ひやりのまちづくり

吉川さんに「向日市社協のスローガンを実現するために必要なこと」をお聞きすると、私は市政50周年に向けて、向日神社の参道200mで実施している「7・67絆流素麺会」の竹をJR向日町駅までつなげていきたいと考えています。ただし、イベントをすることが目的ではなく、市民が地域活動に参加するストーリー性を大切に、参加した者が地域で語り合えるようになることが重要とのことでした。

お膳立てされた催しに参加するのではなく、自分達で考

え、話し合っって企画することは苦勞もありますが、自ら主体的に地域へ関わることに、顔がみえる関係が築け、地域への愛着が湧くことが、福祉にも通じるものだと思うとのことでした。

最後に向日市社協に期待することをお聞きすると、社協も組織である限り一定の制約があり、できないこともあると思います。「本当はこんなことが必要なんだけれど」と思っている壁にぶち当たってできない。もう少し枠をはみ出したところに面白味があるかもしれない。市民目線の取り組みが必要だと思っています。

制約が少なく、自由な発想で取り組みができる「まちづくり市民の会」なら、堅苦しいことは言わずに面白い企画があれば、一緒にその壁をぶち破るようなことができるのではないのでしょうか。

(愛称：むつみん)



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみをもち読んでいただけるよう、紙面の充実にも努めてまいりますので、「福祉パレット」に対するご意見や感想、ご要望等をお気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

- 総務係 932-1960
- 地域福祉係 932-1961
- 障がい者地域生活支援センター 932-1990
- 地域包括支援センター 921-1550
- デイサービスセンター 931-3294
- ホームヘルプセンター 932-1968
- 居宅介護支援センター 931-3030
- 福祉会館 931-3322

